

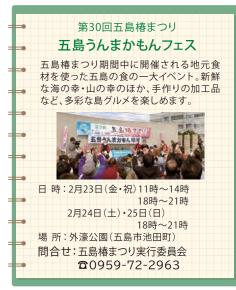


五島で生まれた椿油のドレッシング **TSUBAKI DRESS**

香珠子海水浴場のそばにある「五島椿物産館」の自家製海 水塩、椿油、柚子胡椒を使用したドレッシング。柚子胡椒 入りと柚子胡椒無しの2種類があります。

表紙のはなし『鐙瀬溶岩海岸から見た鬼岳』

約5万年前に鬼岳付近の火山の噴火で流れ出た溶岩で 形成された鐙瀬溶岩海岸。海岸に造られた展望台から は、五島のシンボルとして市民に親しまれている鬼岳の 穏やかで美しい姿を眺めることができます。





武家屋敷通り

かつての中級武士たちの屋敷 が並ぶ通りで、今も残る石垣 塀は、「こぼれ石」と呼ばれる 玉石を載せた国内的にも大 変珍しい構造。福江武家屋敷 跡に造られたふるさと館で は、歴史を紹介する展示コー ナーのほか、バラモン凧の絵 付けなどが楽しめます。



五島観光歴史資料館

福江城(石田城)二の丸跡に建 てられた天守閣を模した外観 が特徴で、福江島を中心とする 五島列島の考古資料、歴史資 料、美術工芸品、自然と暮らし、 祭など、五島の歴史と文化を 学べる総合的な資料館です。

た移住者用のファ

自然が美しく、魚がおいしい 五島はそれに加えて 人の温かさが移住者を 引きつけています _{今月の}ったえ_るひと 桑田 隆介 さん 対馬市厳原町出身。東京のアパレル会社に勤務した後、 2016年に五島市に移住。デザイナーズホテル「hotel sou」、学童施設「おうとうのいえ」、移住者向け賃貸住 宅「本山ヒルズ」、カフェ「ソトノマ」などを運営。 五島のためには根底にあるのは なら住 生活が軌道に乗り 会社に就職でき、多くの 良く、マグロ養殖を行っ 世話になるう 相子さんたちが

ちになりました。

てい

んでも

を組み、五島に通い始め

をサポ

する有志グル 仲間と共に地方

現在は有川さんと一

たことです。「ソ

営も行い

、僕が島の

から 緒にソ

U

て

もらっ

マ

0)

た運

マ」というコミュニティ

カフェ

の有川

ことを次の方にもしてあげた

1,

とい

う思

とても温かく

良

. 方で、

お

で接客

して

五島

0)

移住を えず

少

なに

ところ

も考えてい

る ま

あ

マに寄ってみてくださ

ンドに勤めて

た時に、

は、東京でアパ

レル

何

か

できない

か

預けられ た声があることを知り、 全国からお客様が来てくださっています。 こともあり、建築雑誌などにも掲載され 世界的建築家・谷尻誠氏が設計してくれた プンしました。 た頃の知人と五島初のデ のために何かできることはな その後、 と思 ・始め、 お世話になっ 以前から付き合 住むところが 東京で働 u]を202 学童施設を併設 て けど子ども いと

「東の大島、西の五島」と並び称されるほ

ど、椿の自生地として名高い五島。幻の銘花

「玉之浦」を生んだ五島では、古来より人々

の生活に広く、深く、椿が関わってきまし

た。期間中は、

日本一の生産

量を誇る五島

の椿を見なが

ら、島旅を楽し

んでください。

0 のあっ 年にオ ズホテ た 五島の冬の風物詩 第30回 五島椿まつり



して

もらい

ら、五島で

コミュニティカフェ「ソトノマ」

で、父は壱岐出身です。だから 僕は対馬出身で、現在住んで るのは五島、母は対馬出身 も

いて、将来は、五島で学 と思ってい も壱岐も五島 ム離島だと

を建てました。学童施設は島の まちになり、元気になっ り、活動の根底には「五島が暮らしや 緒に立ち上げたNPO法人で運営して (持ちがあ) ります 人たちと いと

思って 列島も同じ島、チ 僕の中では、対馬 かしたい んだことを対馬や壱岐で

間: 2月23日(金・祝)~25日(日) 所:五島市内各地 問合せ: 五島椿まつり実行委員会 ☎0959-72-2963

3